

次世代とともに歩むチームの今後の進め方について

令和2年8月時点

■ 目的

SDGsにおいてジェンダー平等が分野横断的な価値として不可欠とされていること、ゴール5としてジェンダー平等が掲げられていること、また、これらについてユース世代に周知しともに手を携えて歩んでいくことが重要である。

このため、連携会議構成団体が、ユース団体と連携しながら、ジェンダー平等に向けて、次世代とともに活動を行うようになることを目的とする

■ 成果物

- ・SDGsにおけるジェンダー平等の分野横断的価値やゴール5についての中学生・高校生向けの副教材

■ スケジュール

第1回：令和2年8月～9月頃

- ・副教材の方向性について意見交換
- ・アンケートに回答のあった各団体からの説明
- ・今後の活動方針について議論

※意見交換を行いたいユース団体を提案していただく。

※第1回チーム会合の後、メールベースでのやり取りや、知見を持った有志メンバーでの少人数での議論を適宜行う。

第2回：令和2年10～12月頃

- ・ユース団体との意見交換（ユース世代のジェンダー意識等）
- ※プランインターナショナル、Y20など

第3回：令和3年1～3月頃

- ・副教材のたたき台について意見交換
- ・メンバーとなっている団体議員において、副教材の活用方法について議論を深める

シンポジウムの開催等：令和3年6～8月頃

- ・作成した副教材や団体の取組を広く発信するシンポジウムの開催
- ※メンバーとなっている団体議員からアクションプランを提示
- ・内閣府が、文部科学省と連携して、教育委員会等に副教材を周知

全体会：令和3年10月頃

- ・これまでの活動実績の報告